

自治体情報発信支援ツール

Con:tegration™

～仮想統合データベース～

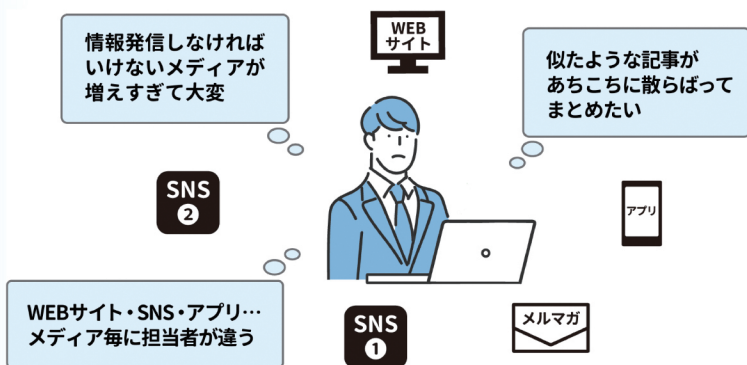
自治体メディアの配信情報を一元管理することで、
情報コンテンツの管理・運用作業の負荷軽減を支援します。

自治体メディア担当者様、コンテンツ管理・運用に手間がかかっていませんか？

- 情報コンテンツの集約が困難
- システムメンテナンスの手間が増大
- 複数の更新作業が発生
- コンテンツの2次利用・管理に苦戦

行政DX化の推進により、
複数メディアの管理・運用でお困りなことを「Con:tegration™」が解消

「Con:tegration™～仮想統合データベース～」とは



「Con:tegration™ (コンテグレーション)」は、メディア毎に別々に格納されていたコンテンツデータを仮想の統合データベースで繋ぎ、メディア間でのコンテンツ共有を可能にするコンテンツ連携基盤SaaSサービスです。

役割と連携イメージ

管理している様々な公式メディアと仮想統合データベースを連携(連携方法複数あり※1)することで、コンテンツデータを一元管理し、入力・更新の手間をかけずに公式メディア上での情報配信が可能になります。



※1 コンテンツデータの連携方法：E-mail、WEBサイト(RSS連携/WordPressプラグイン)、汎用API(REST API)は全メディア対応可(接続先の開発が必要)

Con:tegration™

～仮想統合データベース～

特徴と機能紹介

特徴

新たなシステムを導入することなく、既存のシステムの運用をそのままにコンテンツの更新作業を一括で行うことができます。それにより複数のシステムをあたかも1つの仕組みのように扱える情報発信支援ツールです。



特徴
1

既存
システム
のままで

特徴
2

更新作業を
一括で

特徴
3

新たなDBの
構築不要

リアルタイムで公式メディアへの各種情報配信が可能に！！

主な機能

API連携

類似サービス、SNSなどとAPIで連携し、Push/Pullの両方に対応可能です。

データベースの仮想化

データを仮想化することで、構造を変更せず一元管理。元データの変更やコピーは不要です。

利用許諾(申請・承認)

コンテンツ提供側と利用者側での適切な使用権の管理が可能です。

自動更新

参照元データが更新されれば、参照先でも自動で更新します。
※任意更新も可能です。

ログ分析

提供コンテンツの利用状況の把握、メディアを横断した分析が可能です。

AI検索

コンテンツの内容をAIが判別し、タグ付け、グルーピング、条件検索を自動で実施します。
※2023年度末リリース予定

価格・スケジュール

初期導入費用:200万円(税別)～

ランニング費用:15万円(税別)～/月

導入期間:1～3ヶ月

1ヶ月目:接続先ヒアリング、2ヶ月目:設計、3ヶ月目:テスト

サービス紹介サイト



Con:tegration



詳しくは下の
QRコードから

